

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	日本文化C		
英文授業科目名	Japanese Culture C		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-日本語・日本文化科目-日本文化科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	亀井 奈保美（学内連絡教官）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
nkamei@par.odn.ne.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a) 主題： 古代から室町時代（16世紀）までの日本の歴史を学ぶ。</p> <p>(b) 達成目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の歴史書を読んで書かれていない歴史にも注目し、いろいろな歴史認識があることを理解する。</li> <li>・古代から日本は中国、朝鮮半島の国々との関係が深く様々な影響を受けているので、大陸からの影響を考慮しながら、各時代の特徴を理解する。</li> </ul>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
第一日目の授業内で指示。（事前の購入は不必要です）。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

#### (a) 授業内容：

以下の内容について、ビデオ鑑賞、教科書、副教材を通して考えていきます。

- ・縄文時代、弥生時代（狩猟から稲作へ）
- ・古墳時代（統一国家への道）
- ・飛鳥時代（仏教の伝来）
- ・奈良時代（古代律令国家の成立）
- ・平安時代（貴族の時代）
- ・武士の時代（源平の対立）
- ・鎌倉時代（封建時代の始まり）
- ・室町時代（対明文化）
- ・戦国時代（下克上の時代）

#### (b) 授業の進め方：

ビデオを見て大まかな特徴を把握し、さらに教科書を読むことによって細かい歴史的事項の確認をする。また、副教材として複数の歴史書を検討し、視点の違いを探る。毎回その日勉強した内容の要約文を提出する。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法：

成績評価	出席	20%
	授業参加	10%
	提出物	20%
	レポート	50%

#### (b) 評価基準：

- (1) 授業中のディスカッションに積極的に参加する。
- (2) 各時代の特徴を理解して要約文として日本語で正しく書き授業内に提出する。
- (3) 各歴史書の歴史認識の違いを理解する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないが適宜相談に応じるので、事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】